



「福祉の町・池田」の担い手を育てるために

～ 池田町教育委員会 学校教育課 ～

1 はじめに

池田町には、介護福祉や作業療法、言語聴覚の3コースからなる「サンビレッジ国際医療福祉専門学校」があり、多くの学生が医療福祉のエキスパートをめざして学んでいます。また、池田町社会福祉協議会や特別養護老人ホーム、グループホームなど、町内の多くの福祉関係施設の活動を通して、充実した福祉サービスが提供されています。

このように、町関係部局や小中学校、専門学校、事業所などが連携して、「福祉の町・池田」～多種多様な人々が元気に暮らすことができるまちづくり～を目指すと共に、池田町・養基組合教育委員会においても、以下の2点を学校教育の重点に位置付けて取り組んでいます。

福祉教育の方針と重点

<目標> ○思いやりと連帯の心を育てる

- <重点>
- ・他者を理解し思いやりの心が育つよう、様々な教育活動の中で活動のねらいや価値を明確にしたボランティア活動・福祉活動を充実する。
 - ・学校間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携し、地域に根付いたボランティア活動・福祉活動を充実する。



2 具体的な実践例

①池田町教育センター（いけだスクールフォーラム）

池田町・養基組合教育委員会には、学校教育の方針と重点を具現するために、「池田町教育センター」が設置され、そのうちの一つに福祉教育委員会があります。福祉教育委員会では、講師による研修会や福祉体験、施設訪問などを通して、視野を広げ、共に生きることへの理解を深められるようにしています。ここ数年は新型コロナ対策で開催できませんでしたが、3年前には「いけだスクールフォーラム」の場で、町内の小中学校、専門学校の実践事例を発表しました。

いけだスクールフォーラム

<実践発表>

- | | |
|---------|------------|
| ・英語教育 | 町内小、中学校 |
| ・福祉教育 | 町内小、中、専門学校 |
| ・キャリア教育 | 町内高等学校 |



[学校の取り組みの発表]

②小中学校の取組み

<福祉をテーマにした調べ学習・A小学校（6年生）>

高齢者福祉や子育て支援、障害者福祉など、様々な福祉支援について調べることを通して、自分たちが住んでいる町の福祉関連施策を理解しました。

また、だれもが住みよい町にしていくために、自分たちにできることを提言としてまとめ、発表会を行いました。

新型コロナ対策のため多くの方に参観していただくことはできませんでしたが、発表の内容を動画にまとめ、池田町役場へ届けました。



[調べ学習の発表]

<点字・手話体験学習・B小学校（4年生）>

社会福祉協議会の方から教えていただいて、点字打ちの体験をしました。点字表を見ながら、自分の名前から始め、少しずつ長い文章に挑戦しました。また、指で触って読むことにも挑戦しました。

手話の学習では、簡単な歌を手話で歌うことに挑戦しました。新型コロナ対策のため大きな声で歌えない時期が続いていたので、声を出さなくても歌える方法に気付くと共に、手の動きで歌詞を表現できたことに驚きました。



[点字の学習で学んだこと]

<認知症理解講座・C小学校（5年生）>

社会福祉協議会の出前講座を活用し、サンビレッジ新生苑の職員を講師に、認知症に対する理解を深める学習を行いました。

講師の方からは、認知症の症状や接し方などについて、画像を交えながら丁寧に説明していただきました。また、児童同士がペアになって役割演技をすることで、認知症になった高齢者の気持ちを考え、どのように接することが大切かを、具体的な体験を通して学びました。

同居家族の中に祖父母がいない児童も多く、日頃から高齢者と接する機会が少ない現在の児童にとって、良い学びの機会になりました。



[ロールプレイの様子]

- ・お年寄りの方にも伝わるような話し方や、声の大きさを話したいと思いました。
- ・ペアで役割演技をしました。お年寄りの方に話しかけるつもりで、ゆっくりと話しました。
- ・おじいちゃんやおばあちゃんの気持ちが、少し分かったような気がしました。

<職場体験事前&事後学習・D中学校（2年生）>

町内にある社会福祉法人の方を講師に迎え、自身の体験を通して、福祉の道へ進もうと決意した理由や介護の仕事内容、仕事を行う上で大切にしていることなどを学びました。

特に子ども達の印象に残ったのは、日々の業務や研修を通して仕事のやりがいを見出し、自身の最期は自身で決められる社会にするために、与えられた仕事に全力を尽くしてきたというお話でした。



[講話を聞く生徒たち]

3 おわりに

池田町・養基組合教育委員会管内の小中学校では、総合的な学習の時間での主要な学習テーマに福祉を位置付け、講話や体験、施設訪問をはじめ、児童会・生徒会で取り組むボランティア活動などを行ってきました。学級や学年、異年齢集団などによって行われる活動も学習の一つですが、児童生徒が体験を通して人を理解し、共に生きることを学んでいけるよう、地域での福祉体験やボランティア活動、施設訪問、幼保交流や小・中・高の校種間交流など、学校の枠を越えた活動を大切に行ってきました。

池田町は「福祉の町」として、多くの福祉施設が整えられ、様々な施策が実施されています。そうした教育環境を生かして福祉教育を充実させ、体験を通して小中学生の視野を広げ、人を大切にする思いやりの心を培うことが池田町、並びに町民の願いです。